

四季のコンサートだより

1997年9月20日発行

浜松音楽友の会

事務局 〒430浜松市中沢町44-11

電話連絡 473-3579(原)

パスカル・ゴダールさんこんにちは

去る5月13日(火)四季のコンサート夏で、パスカル・ゴダールピアノリサイタルが催され、若い情熱にあふれる演奏が大好評でした。今回は、インタビューが出来ませんでしたのでバリのゴダールさんにいろいろお伺いしてみました。



Q ピアノを始めたきっかけは？

A 5才の頃、フランスのコレーズ地方の街に住んでいました。両親は私を、幼い頃から文学や音楽に興味を持たせるように育て、その街のコンセルヴァトワールの、ソルフェージュのクラスに入れました。そこですぐピアノを始めようように勧められ、9年間学びました。先生はマダム・アントルモンといって、かの有名なピアニストであり、指揮者のフィリップ・アントルモンの母親です。

Q 14才でパリ・コンセルヴァトワール入学というのは、たいへんな才能の持ち主ということですが、それについては？

A 別にすごいことではありません。特に私の場合は、小さい頃から良い先生にめぐり逢えたからだと思います。その位の年齢の人は私以外にもおりました。勿論、その中に日本人も。

Q 音楽家の家系ですか？

A 母親の家系は音楽家でした。母の兄はチェリスト、母の父は若い頃、声楽家でした。

Q 浜松の印象は？

A 皆様の温かいおもてなしや、主催者の御苦勞には非常に感謝しています。ほとんどすべてのコンサートホールの、音響効果の質の高さに驚きました。

Q コンサートでは、主にどんな曲を弾かれますか。また印象深い曲は？

A 全部です。ですが、数年前からラフマニノフのコンチェルトに惹かれています。特に第3コンチェルトを弾く時は至福の時です。モーツァルトやベートーヴェンは、弾けば弾くほど情感が深まり、充足感を味わうことができます。彼

らの音楽には、まだまだ探求する事があるので、とても嬉しいです。また、ラヴェルやメシアンのような、フランス音楽も弾きます。メシアンの作品は、彼本人の前で何回か弾く機会がありました。

Q 演奏会を通じて、聴衆に届けたいメッセージは？

A ステージから、特に個人的なメッセージということはありません。そのかわり、作品を聴衆に十分伝えることが出来た時、私自身の作品だと聴衆に錯覚させることもあると思います。そうなるためには、まず自分が作品を理解すること、そしていかに聴衆に伝えるかです。音楽家は、感受性が豊かでないといけないと同時に、謙虚である必要があると思います。

Q 来シーズンのあなたのスケジュールは？

A ヨーロッパでのリサイタルや、室内楽コンサートに出ます。来年1998年4月に、初めてウィーンのコンツェルハウスとリンツで、ベートーヴェンのピアノコンチェルト第1番を、ヴィエナーカマーオーケストラと共演します。また来年は、ガーシュインの生誕記念にあたりますので、そういう関係のコンサートにも招待されています。その際には、ラブソディー・イン・ブルーのCDを出す予定です。

どうも有難うございました。今後のご活躍をお祈りいたします。

ゴダール氏には、彼の今後の演奏を見守りたいとの思いから、3年後にも音楽友の会に、出演していただくようお願いしています。その時まで、彼が世界で活躍なさり、演奏がどのように変化していくか皆様と共に期待したいと思います。

嬉しいお便りが届きました

突然お手紙を差し上げて申しわけありません。この度は3月12日の、ゲヴァントハウス弦楽四重奏団のコンサートの花束の係りにお誘い頂き大変光栄でした。また本日素晴らしいお写真をお送り頂いて、とてもいい記念になりました。有り難うございました。

私は、母に連れられて小さい頃から「四季のコンサート」に通っていました。そのおかげで中学生の頃にクラシック音楽が好きになり、自分の下手なバイオリンも楽しんで続けることが出来ました。私がコンサートに通い始めた頃は、まだまだクラシック音楽を好んで聴く人が少なかった様に思います。でもあれから何年もたって、浜松にも私と同じようにクラシック音楽の良さを感じ、音楽会に足を運ぶ人が増えたと思います。

私は今高校3年生で進路や将来の事について考える事が多いのですが、将来のことについて四季のコンサートで経験したようなたくさんの感動を、今よりもっともっとたくさんの人に伝えられるような仕事をしたいと考えています。そのためにこれから勉強しなければならない事が、まだまだたくさんあるのですが、将来の事を考える度こんな夢を与えてくれた音楽会と、音楽会を進めてくださっている須川さんやお仲間の皆さんに感謝したい気持ちになります。毎回楽しみにチケットを求めて聴きに來るお客さんや、初めてクラシックにふれるお客さん達の為にも、これからも「四季のコンサート」を続けて下さい。

花束のお礼と、お写真のお礼の手紙がこんなにも長くなりすみません。これから暑い季節になりますのでお体に気を付けてお過ごし下さい。 さようなら

木内 麻希子



彼女との出会いは、浜松音楽友の会発足当時、保育の受付をしていた時でございます。コンサートの度に磐田からお母様に連れられて、保育室へにこにこと走ってこられたのをよく覚えています。とても可愛いお嬢様で、お会いするのを楽しみにしていました。月日が過ぎ、お母様と一緒にコンサートを聴かれるようになり、小学、中学、高校に進まれ、まぶしく成長なさっています。会場で時々姿を見かける度、年月の早さを感じさせられます。ゲヴァントハウス弦楽四重奏団リサイタルで花束をさし上げる係りをお願いしましたら、快く引き受けてくださって、その上こんなに可愛いお手紙を頂いて感激です。保育の受付をしていた頃のお子さま達の事などを想い出し、懐かしい感傷にふけております。

彼女の夢が一つ、二つ、三つと叶いますようにと願っています。

スタッフ 須川 テル子

次回コンサート予定

秋 大倉由紀枝(S) 福井 敬(T) ジョイントリサイタル
ピアノ伴奏/鳥井 俊之 10月9日(木) 6:45 P.M.

実力と華を兼ねそなえた日本を代表するソプラノ大倉由紀枝とテノール福井敬のオペラ名場面集をお楽しみ下さい。



大倉由紀枝



福井 敬

プログラム

第1部

野の羊……………服部 正
「六つの子供の歌」より
1. うばぐるま
2. 鳥
3. 風の子供
4. たあんき ぼーんき
5. ねむの木
6. おやすみ……………中田 喜直
別れの歌……………トス ティ
忘れな草……………クルティス
彼女に告げてよ……………ファルヴォ

第2部

「カルメン」より
母の手紙を持って(2重唱)……………ビゼー
「蝶々夫人」より
ある晴れた日に……………プッチーニ
「トスカ」より
たえなる調和
歌に生き、恋に生き……………プッチーニ
「リゴレット」より
女心の歌……………ヴェルディ
「椿姫」より
乾杯の歌(2重唱)……………ヴェルディ

アンケートにお答えして

音楽会の折りに、アンケートをお願いし、たくさんの会員の皆様にご協力いただきまして、有難うございました。多くの貴重なご意見は、これからのコンサートの参考にさせていただきます。
アンケート結果のご報告と、ご意見ご質問にお答えいたします。

聴いてみたいジャンルベスト5

- 1位 ピアノ
- 2位 オーケストラ
- 3位 声楽
- 4位 室内楽
- 5位 弦楽器(ヴァイオリン・チェロ・ハーブ・ギター他)

もう一度聴きたい演奏者ベスト5

- 1位 佐藤しのぶ ソプラノ
- 2位 工藤重典と吉野直子 フルートとハーブ
- 3位 仲道郁代 ピアノ
- 4位 前橋汀子 ヴァイオリン
- 5位 梶山久美 ヴァイオリン

★演奏会の回数を増やしてほしい

特別公演ということで、増やす年があっても良いのではないかと、考えております。

★アクトシティで催してほしい

交通の便や雰囲気などを考えますと、アクトというお気持ちはよくわかります。友の会でも考えてみましたが、会場費などの点で会費大幅アップとなりますので、当分は現在の会場ということになると思います。これも特別公演というかたちで考えていきたいと思っています。また、アンケートの中には、現在のホールの音響がいいので、他の会場に移さないでというご意見もありました。

★演奏会を、金・土曜日の夜や、日曜日の昼間にしてほしい。開演時間を遅くしてほしい。

演奏家のスケジュールとホール予約(抽選)の調整があり、決まった曜日にすることは大変難しい状況です。さらに、会員の方々のご都合も様々と思いますので、曜日が片寄らないように考えて催しております。また開演時間につきましては、何回か時間を変えて催してきました結果、ここ数年は現在の6時45分に落ち着きました。保育室や終演時間の関係で、あまり遅い時間での開演は無理かと思われれます。

★会費を上げてよいからよい演奏を聴きたい。知っている曲も入れてほしい。

現在の会費で、世界のどんな演奏家の演奏も聴くことができるというわけにはいきませんが、今までお聴きいただいたコンサートのどれも一流の演奏だったと、スタッフ一同自負しております。今後もクラシック音楽の分野で、本物の演奏を聴かせて下さる演奏家の方々を、お招きしたいと考えております。国内外、邦洋楽等を問わず幅広く皆様に楽しんでいただこうと思っております。なお出演交渉の時点で、「浜松音楽友の会」の趣旨や、これまでの音楽会の様子を演奏家にお知らせして、曲目等を決めていただいております。また曲目等がわかった時点で、再度内容の検討をしていただくこともあります。今後も皆様のご意見、ご希望に添えるような内容にしていきたいと思っています。また、地元出身の演奏家のコンサートもご期待ください。

★子供の入場は遠慮してほしい

浜松で質の高いクラシック音楽を聴くことができれば！親子で聴きに行っても無理のない低料金で!!と、夢のような発想を持ち合わせた女性が集まって15年前に発足したのが、この「浜松音楽友の会」です。そして、主催する音楽会のタイトルも“ふれあいおんがくかい”、音楽を通じて親子のふれあい、演奏家とのふれあいを大切にしたいと願っての命名でした。当初の会場の雰囲気と比べますと、今では子供さん達が、とても上手に聴いてくださるようになったと思います。目に余る場合は、どうぞお近くの方が本人に注意していただきたいと思います。皆様のご協力で誰もが気持ち良く聴ける雰囲気演奏会場を、作り出していきたいと思っております。今後もお子様の入会、入場は大歓迎致しますが、会報や場内放送にて、マナーについてお願いしていくとともに、保健室についてもご案内するようにいたします。

★曲の途中は入場させないで

曲の途中(楽章の間)の入場につきましては、事前に演奏家と打ち合わせて、曲のどこでドアを開けるか決めております。遅れてこられた方は、スタッフがドアを開けるまで、しばらく外でお待ちいただき、入場されましたら、ドア近くの座席にお座り下さるようお願い致します。

★インタビューは有ってもいい、無くてもいい

これは大変難しい問題です。インタビューをお願いすることが、まず、大変なこと。演奏家にとってもパワーがあるので、インタビューできないこともあるのです。しかし、先にも書きましたように、音楽とのふれあい、演奏家とのふれあいを大切にしたいので、演奏家が了承していただければ、必ずインタビューの時間をとるようにしています。どの時間にするかも、演奏家の希望で決めています。内容はほとんどインタビューの方々に任せしています。インタビューの方も、お子様から大人までの聴衆の代表ということで、どんなことを話題にするのか大変苦勞しておられます。

1998年 ふれあいおんがくかい 予定

春

安部圭子(マリンバ)リサイタル

4月11日(土)

ふれあいおんがくかい11年ぶりの(1987年夏)アンコール公演です。打楽器の第一人者の魅力あふれるコンサートです。

夏

堀江真理子六重奏団

6月4日(木)

日本とフランスで活躍なさっている堀江真理子さん。パリ・コンセルヴァトワール以来のお仲間とのアンサンブルです。

今回はシューベルトの「鱒」が楽しみなプログラムの1つです。

秋

15周年記念コンサート

二期会合唱団と大島洋子・大島幾雄リサイタル

10月25日(日)

ふれあいおんがくかいはじめての混声合唱団(総勢24名)と大島夫妻のコンサートです。オペラ合唱団ならではの圧倒的なパワーにあふれる華やかな舞台が楽しみです。

冬

バロック音楽の夕べ

12月^{22日(火)}予定

リュート・トラベルソ(横笛)、ヴィオラ・ダ・ガンバ、チェンバロの古楽器のアンサンブルと、ソプラノとバロックダンスの優雅な夕べです。

浜松出身の演奏家シリーズ

石井克典ピアノリサイタル

7月17日(金)

1993年 第10回ロベール・カサドシュ国際ピアノコンクール第4位

1996年 ニューヨーク日米協会国際ピアノコンクール優勝

1997年 第2回浜松ピアノ・アカデミー優勝

今後の活躍が楽しみな新進ピアニストの浜松での初リサイタル

各回共 於：はまホール

★会員の皆様へのお願い★

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内でお願いいたします。テーマは自由です。

会員登録は、年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所 氏名 電話 会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛に退会の旨をご連絡下さい。

名義変更の方は、ハガキに旧会員と新会員の住所 氏名 電話 会員番号(旧会員の)をご記入の上、事務局宛にお送り下さい。

保育室ご利用の方は、コンサートの前日までに、有本 ☎053(449)0457までお申込下さい。

開場時(開演30分前)から終演までお預かりします。1回500円です。

●インタビュー・花束贈呈係を募集しています。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。